

# JAPAN TODAY

2021年 MONTHLY 10,11,12月号

ジャパン・ツディ編集部 村井実・編集長 ①160-0004 東京都新宿区四谷4の6の1 四谷サンハイツ1205号  
新聞は時代を映す鏡である！(ジャパン・ツディは全国47都道府県庁、地方自治体に配布しています)

## 皇室を餌食にしているマスコミ

### 戦犯奉る靖国参拝は 天皇に弓を引くこと！



村井 実 (むらい・みのる)  
北海道日高村(現・日高町) 番外地生まれ。昭和43年、早大卒。毎日新聞記者を経て昭和48年、時事通信記者。警視庁記者クラブを経て国会記者。田中角栄から自民党歴代首相を取材。その間、ロッキード事件、田中金脈事件、リクルート事件を担当。宮内庁記者。昭和63年米国スタンフォード大学フーバー研究所入所。米国大統領のフォード、カーター、ブッシュ、さらにケネディー族や英国のエリザベス女王、サッチャー首相などインタビュー、単独会見。早大など3大学で教鞭をとる。「ジャパン・ツディ」編集長。

3年ほど前から皇室の秋篠宮家の長女、眞子さま騒動で週刊誌、新聞などのマスコミが鬼の首を取ったように報道して世間を騒がせている。

皇室ルートの報道などしても、これほど熱して報道すべき問題なのか、私は首をかきつけている。

元をたどると、眞子さま個人の問題というよりも眞子さまの結婚相手となる男性、小室圭さんの母親がX氏から400万円借りていた—として問題は圭さんの母親とX氏の金銭問題のトラブルが発火点。

それを新聞、週刊誌など、テレビを含めて、おもしろおかしく記事にするものだから、国民の、それも女性たちが焼けて眞子さま問題を読みあさってきた。嫁、家族問題は女性特有の好奇心が動く。

私も昭和52年〜同53年ごろ、国会から宮内庁記者クラブにまわされ、当時の昭和天皇の晩年を多少なりとも、皇室関係記事として書いてきた。

そこでなぜ、皇室記事が日本列島に流布されるかという、皇室ものは通常の倍以上、売りが多く、国民の関心度が高いからに他ならない。

それをさらに細かく分析すると、皇室ものは手っ取り早くカネ、ゼニになるので出版界、新聞界はやめられない。

コロナ不況、東京オリンピック禁止込めが、まさに出版界不況につながり、皇室ものは誰にも批判されない一条の光だった。

そうした環境の中でも、皇室内の女官らが情報を秘密裡に外に流して裏で高級アルバイト料が出ているとも耳にする。

言葉は悪いが、ペールに囲まれた皇室ものはマスコミ、週刊誌、出版物のエンジンにされてきた、と私は思っている。

あれから40年ぐらいたったか。今、再び眞子さま騒動で眞子さまは「さし者」にされ、複雑性P

TS&Dという精神的病気をかかえている。

私は眞子さま問題について、これまで沈黙を続けてきたが、今回、あえてペンを執った。

それは最近、夫の小室圭氏から「弁護士を通じてX氏の400万円は解決した」と発表されたから、今後、双方(X氏と圭氏の母親)はいっさい関係ない—となった。

こうして今日(11・14)眞子さまは夫と共に米国へ飛び立った。

眞子さまは皇室から受けられる1億2000万円を辞退して受け取らず、夫の「愛」を手にいったのだが「めでたし」で、何も言うことがない。

英国王室の例をとって、エリザベス女王の孫のヘンリー第2王子も近年、王室を離脱してアメリカに渡った例もある。

眞子さまも結婚を契機に日本皇室を離れた。眞子さまに非はない。今後、マスコミは眞子さまを追う必要もないのだから、さっさと引いてほしい。

今回、眞子さまの夫が米国の弁護士試験に失敗したとしても、人生には成功も失敗も多々ある。驚くような話ではない。

テレビ(フレーム)の中で、最近、玉川某さんは「この問題は、この程度にして、もっと他の重要問題に目を向けて」と発言したが、その通り。皇室を「見せ物」にしてきたマスコミは、このへんで終わりにしてほしい。

そんなことより私から提言がある。昨年の2〜3月頃、私は「コロナ禍は有事並みの戦争である」と活字にして宮内庁に文書を送りつけた。

内容は英のエリザベス女王でさえ「今世紀、イギリスの最大の危機。コロナ禍を制圧せよ」と国民に向かって機をばした。

これにならって私は昨年夏、さらに今年春の2回にわたり、宮内庁あてに「憲法の制約があるものの、天皇自ら国民に向かってコロナ禍防止のため、マスク掛け、集団飲酒などの禁止を天皇の名で呼びかけて下さい」と伝えた。

これに対し正面からの回答ではなかったが、宮内庁は天皇、皇后の言葉で宮内庁内で「講話」の形をとって国民にテレビで伝えたことと感謝する。

さらに、もう一つ思いつけて言うところ、平成天皇退陣の時、平成天皇は「天皇といえども生命に限りある」として、平成天皇が退陣、皇太子を令和天皇とした。しかし、これは臨時の安倍首相は平成天皇に限り、一代のみの途中退陣—とした。従って、この問題は現在もウヤムヤになっており平時に「天皇二世」問題を検討すべき時代にきている。

また、女性天皇が問題になったが、日本歴史上、女帝天皇時代が5〜6回あり、こうした重要問題を政治家、学者、歴史家、マスコミが集中して討論してほしい。眞子さま問題なんて右の問題に比べると小さすぎる。

最後に、重要問題—昭和天皇は靖国神社に昭和53年を最後に以後、靖国参拝はしていない。なぜなら太平洋戦争の戦犯入りを厚生省が、この靖国神社に奉ってしまったからだ。歴代天皇は、これに反発している。

私も敗戦後の日本以降、天皇主義者であり、政治家の靖国参拝は皇室に弓を引くことになる。政治権力を持つ者は、上記天皇の行動言葉を心して聞け！

令和3年(2021)11月15日

あ、また、女性天皇が問題になったが、日本歴史上、女帝天皇時代が5〜6回あり、こうした重要問題を政治家、学者、歴史家、マスコミが集中して討論してほしい。眞子さま問題なんて右の問題に比べると小さすぎる。

最後に、重要問題—昭和天皇は靖国神社に昭和53年を最後に以後、靖国参拝はしていない。なぜなら太平洋戦争の戦犯入りを厚生省が、この靖国神社に奉ってしまったからだ。歴代天皇は、これに反発している。

私も敗戦後の日本以降、天皇主義者であり、政治家の靖国参拝は皇室に弓を引くことになる。政治権力を持つ者は、上記天皇の行動言葉を心して聞け！

令和3年(2021)11月15日

### 村井 実・銀座セミナー

場所・東京都中央区銀座5の7の2、三愛ドリームビル3F (最寄駅、地下鉄銀座線、銀座駅A1出口)

日時・令和3年12月20日(月) PM2:00~4:00  
令和4年1月20日(木) PM2:00~4:00

会費・3,000円(定員20人)



# アナーキズム コロナ禍の日本は無政府主義

## 死者1万6千人は安倍、菅、小池の後手後手の犠牲者

「このコロナ禍の死者1万6000人に対して涙する政治家を見たことがない。政治家たちは他人ごとみているだけだ。」

「無責任なだけの偉い人たちが(週刊朝日、R3.6.25日付)では次のように批判する。」

「一度目の緊急事態宣言に行われた記者会見で『東京アラート』はレインボープリックを真っ赤にさせる演出で注目されたが、その後感染者は50人を超えて5000万人以上死亡、数値基準をなくして運用を判断であった。要するに歴史取りやめた。」

「菅首相と小池氏は、それまでもサヤ当をくり返してきた。菅首相と小池氏の双方の幹部は、コロナ対応を政争としか考えていない」と相手方のトップを批判(朝日、8・21)

「菅首相と小池氏は、それまでもサヤ当をくり返してきた。菅首相と小池氏の双方の幹部は、コロナ対応を政争としか考えていない」と相手方のトップを批判(朝日、8・21)

「菅首相と小池氏は、それまでもサヤ当をくり返してきた。菅首相と小池氏の双方の幹部は、コロナ対応を政争としか考えていない」と相手方のトップを批判(朝日、8・21)

「菅首相と小池氏は、それまでもサヤ当をくり返してきた。菅首相と小池氏の双方の幹部は、コロナ対応を政争としか考えていない」と相手方のトップを批判(朝日、8・21)

「菅首相と小池氏は、それまでもサヤ当をくり返してきた。菅首相と小池氏の双方の幹部は、コロナ対応を政争としか考えていない」と相手方のトップを批判(朝日、8・21)

「菅首相と小池氏は、それまでもサヤ当をくり返してきた。菅首相と小池氏の双方の幹部は、コロナ対応を政争としか考えていない」と相手方のトップを批判(朝日、8・21)

「菅首相と小池氏は、それまでもサヤ当をくり返してきた。菅首相と小池氏の双方の幹部は、コロナ対応を政争としか考えていない」と相手方のトップを批判(朝日、8・21)

「菅首相と小池氏は、それまでもサヤ当をくり返してきた。菅首相と小池氏の双方の幹部は、コロナ対応を政争としか考えていない」と相手方のトップを批判(朝日、8・21)

「菅首相と小池氏は、それまでもサヤ当をくり返してきた。菅首相と小池氏の双方の幹部は、コロナ対応を政争としか考えていない」と相手方のトップを批判(朝日、8・21)

「菅首相と小池氏は、それまでもサヤ当をくり返してきた。菅首相と小池氏の双方の幹部は、コロナ対応を政争としか考えていない」と相手方のトップを批判(朝日、8・21)

「菅首相と小池氏は、それまでもサヤ当をくり返してきた。菅首相と小池氏の双方の幹部は、コロナ対応を政争としか考えていない」と相手方のトップを批判(朝日、8・21)

「菅首相と小池氏は、それまでもサヤ当をくり返してきた。菅首相と小池氏の双方の幹部は、コロナ対応を政争としか考えていない」と相手方のトップを批判(朝日、8・21)

「菅首相と小池氏は、それまでもサヤ当をくり返してきた。菅首相と小池氏の双方の幹部は、コロナ対応を政争としか考えていない」と相手方のトップを批判(朝日、8・21)

「菅首相と小池氏は、それまでもサヤ当をくり返してきた。菅首相と小池氏の双方の幹部は、コロナ対応を政争としか考えていない」と相手方のトップを批判(朝日、8・21)

「菅首相と小池氏は、それまでもサヤ当をくり返してきた。菅首相と小池氏の双方の幹部は、コロナ対応を政争としか考えていない」と相手方のトップを批判(朝日、8・21)

「菅首相と小池氏は、それまでもサヤ当をくり返してきた。菅首相と小池氏の双方の幹部は、コロナ対応を政争としか考えていない」と相手方のトップを批判(朝日、8・21)

## 国民を路頭に迷わせた敗戦後の最低な内閣

「菅首相と小池氏は、それまでもサヤ当をくり返してきた。菅首相と小池氏の双方の幹部は、コロナ対応を政争としか考えていない」と相手方のトップを批判(朝日、8・21)

「菅首相と小池氏は、それまでもサヤ当をくり返してきた。菅首相と小池氏の双方の幹部は、コロナ対応を政争としか考えていない」と相手方のトップを批判(朝日、8・21)

今野野は自民に向かつて結束するわけなし。バラバラ野党。国家の一番重要な自下の大問題、コロナや国防からきて、まるで学生運動が学芸会のような珍風景である。トホホ……としか言えない。トホホ……

令和3年(2021)8月 村井 実

